

# 令和 6 年度 事業報告

自 令和 6 年 4 月 1 日  
至 令和 7 年 3 月 31 日

令和 6 年度は前年から続く物価高騰に拍車がかかり、その影響は建築資材もまたしかりの状況です。瓦離れが進む近年の流れに、さらに拍車をかける痛手となりました。また、「トクリュウ」と呼ばれる犯罪グループによる屋根工事詐欺などが横行し屋根工事業者というだけで白い目を向けられる風潮となっています。全瓦連では加盟事業所みなさまの結束を強め、ひいては詐欺を横行させない取り組みや啓発活動を促進しております。

令和 6 年 1 月 1 日、石川県能登半島を震源とするマグニチュード 7.6 の地震が発生し、広範囲で住宅倒壊や道路寸断の被害が発生しました。政府の対応の遅れなどもあり、復興が進まずにいる状況が続いています。9 月に同地域は豪雨に見舞われ、土砂災害や浸水被害が復興の足を止めることになりました。そのほかにも岩手県大船渡市を皮切りに、岡山県、愛媛県、宮崎県と全国各地で森林火災が発生し被害が人家にも及ぶなど、自然災害の影響を強く受けた年度でした。災害に対する国および自治体の取り組みは日々更新されるため、調査や収集を迅速に行い対応・共有しております。

瓦復権への取り組みとしては瓦の安全性や瓦採用のメリットを訴える一般ユーザー向けの冊子制作を主軸に、全世代に伝わりやすい P R 手法を模索しているところです。また、自治体との災害協定を通じて、災害時に強固な屋根材として瓦の重要性を訴求しています。さらに、安全性・信頼性の高い瓦の普及推進活動にも力を入れ、住宅の耐久性向上とともに、地域の防災力を高める取り組みを進められた一年になりました。

## 記

### 主なる事業報告事項

#### ◎指導・P R 委員会

##### 【指導関係】

1. アスト事業陳情推進
2. 外部への改訂瓦ガイドラインの周知活動
3. 改訂瓦ガイドライン工法講習会の開催
4. 災害協定の推進活動

##### 【P R 関係】

1. 瓦復権の取り組み
2. P R 大賞の実施、冊子の改訂・新作・S N S の検討
3. P R グッズの検討・販売
4. 悪質事業者対策の検討

## ◎技術・安全委員会

### 【技術関係】

1. 改訂瓦ガイドラインに関する、例示工法や使用材料の拡充と調査
2. 瓦改訂ガイドライン適合棟金具製造メーカーへのアンケート調査
3. 国交省及び各種行政団体への協力

### 【安全関係】

1. 各種保険制度の推進 加入促進
2. 労働災害撲滅に関する啓発活動
3. 全瓦連カレンダーの作成と新しい企画の検討

## ◎災害対策・危機管理室

### 【災害対策関係・危機管理室】

1. 災害発生時の対応マニュアルに基づくヒアリング及び調査チームの派遣
2. 災害に対する取り組み事例の調査と収集
3. 瓦の信頼性をそこなう喧伝や悪質訪問販売への対応
4. 全瓦連HPを通じて上記活動の情報を適時発信

### 【SDGs】

1. あらゆる講習会を通して会員の意識の向上、人材育成を目指して活動  
(二委員会連携)

## プロジェクト

1. 国立研究開発法人 建築研究所  
実大強風雨発生装置屋根風圧係数・瓦飛散実験共同研究  
(3カ年計画の最終年)
2. 登録基幹技能者制度創設準備
3. 2021年改訂版 瓦屋根標準設計・施工ガイドライン改訂準備